

一月號 目次

一、決戰の年昭和十八年の

戰時經濟……………一

(一) 眞の決戰態勢と其の經濟的

重大意義……………一

(二) 決戰完勝への經濟的犠牲の

覺悟と其の深刻性……………七

二、從來の戰時經濟態勢と

現下の決戰經濟態勢……………一八

(一) 戰時經濟態勢一新の急務……………一八

——戰爭段階の一變と舊戰時經濟態勢の

桎梏化——

(二) 戰時經濟基盤の一變と現下

戰時經濟新態勢の相貌……………二四

三、緊急決戰經濟體制確立の

急務と其の對策の重點……………三〇

(一) 決戰經濟的重點主義の緊急徹底化と

其の現段階的意義……………三〇

(二) 一元の戰時緊急行政機構確立の

絶對的急務……………三七

(三) 超重點主義經濟の實施と

其の善後措置……………四四

(附錄)

高橋財界月報第七卷(昭和十七年)總目次……………四七

二月號 目次

一、超重點主義的戰力增強

對策を全面化せよ……………一

二、經濟戰力增強對策の段階的

轉進と其の現在位置……………七

(一) 戰時經濟基盤の變轉と經濟戰力

增強對策重點の段階的變貌……………七

(二) 我が戰時經濟對策從來の變貌事情と

現下の緊急問題……………二

三、インフレ對策現段階の

位置と其の重點……………二〇

(一) インフレ對策從來の位置と

現段階の意義……………二〇

(二) 現下インフレ對策の位置と

其の重點の變化……………二六

(三) 物價、通貨のインフレ對策より

消費規正中心へ……………三三

四、インフレ對策としての物價政策の

位置の一變と對策の重點……………三七

——物價政策を物價政策として見ず廣くインフレ

對策の一環として見よ——

(一) インフレ對策としての物價政策の

一變と其の意義……………三七

(二) 戦後の通貨價值確保に

重點を置く物價政策に徹せよ……………四一

(三) 戦後の財政經濟力を根軸とする

インフレ對策を重點とせよ……………四六

三月號目次

一、二百七十億貯蓄の經濟的意義と

問題の重點

..... 一

(一) 二百七十億貯蓄の

經濟的意義と影響

..... 一

(二) 統制經濟の整備と戰費

支辨對策の意義と重點

..... 七

(三) 國民貯蓄對策を現段階的に

一新せよ

..... 一三

(四) 國家財政力の強大化と

二百七十億貯蓄の源泉

..... 二〇

二、新企業體制の方向と

其の重點

..... 二五

(一) 議會に於ける企業形態論と

根本理念確立の急務

..... 二五

(二) 現下企業形態問題の本質と

民營否定論の基本的誤謬

..... 三〇

(三) 國家目的の完遂より見たる

民營と國營の優劣

..... 三五

(四) 經濟界の志向と國家目的との

融合一致の新體制確立

..... 四一

三、決戰的大豫算と國民生活問題

並に其の對策 四

(一) 決戰豫算の國民生活的意義と
對策の重點 四

(二) 國民生活緊縮對策の現段階的
特徵と施策の眼目 五

(三) 決戰大豫算と國民生活
對策の方向 五

四月號目次

一、産業の現段階的位置と

企業新體制の構想(上)……………一

(一) 産業に對する統制經濟の建前と
企業の位置……………一

(二) 企業新體制の根本は
國家の産業統制體制……………六

二、戰時國民生活對策の

新段階……………二六

(一) 決戰態勢としての戰時國民生活
確保の抜本策の急要……………二六

(二) 戰時國民生活確保の抜本對策と
其の重點……………二二

(三) 國民生活必需品の超重點主義
徹底の急務……………二七

三、物價政策の新展開と政府

補助金政策の新問題點……………三五

(一) 物價政策の新展開と其の意義……………三五

(二) 補助金に由る二重價格制と
現下の新問題點……………四〇

(三) 基本物資の賣價引上
惡循環高論の再檢討……………四六

四、米價對策と其の基本問題……………五三

五月號目次

一、過大膨脹の米國戰時經濟の破裂と 必至の大反動	一
-----------------------------------	---

——今次炭礦總罷業の示唆する

戰時經濟的重大意義——

二、『緊急物價對策要綱』の意義と 注意すべき問題點	一〇
------------------------------------	----

(一) 今次『緊急物價對策』決定の 重大意義	一〇
---------------------------------	----

(二) 物價統制上注目すべき 新機軸	一四
-----------------------------	----

(三) 物價循環高遮斷の意義と 重大問題點	一八
--------------------------------	----

三、戰時統制經濟目標及技術に於ける 段階的發展	三五
----------------------------------	----

(一) 戰時經濟統制基盤の變革と 統制の進展	三五
---------------------------------	----

(二) 我が戰時經濟統制の最近に於ける 重點主義の進展	六八
--------------------------------------	----

(三) 我が經濟統制技術の近時に於ける

飛躍的發展……………三

四、産業の現段階的位置と

企業新體制の構想 (下)……………三

(三) 統制經濟と民間企業の

機能並に其の位置……………三

(四) 統制經濟と民間企業形態の

改革點……………四

六月號目次

一、決戰經濟の本質に

官民共に徹底せよ

—最高目標は戦力増強・右のためには犠牲の凹凸は
決戦上必然なることに官民徹底し、斯かる理念の
下に斷乎施策せよ—

(一) 戦力増強確保上國民犠牲凹凸の

必然性

(二) 決戦經濟と國民犠牲凹凸

激化の覺悟

二、世界戦局の經濟觀的

現在位置

(一) 彼我經濟戦力の根柢的變貌

(二) 反樞軸陣營の自壊段階

への轉入

三、米國經濟戦力愈々頭打

降下の新段階に變轉す

—米國戰時經濟段階の一變と新段階に於ける米國
經濟の重大苦悶及戦力の降下—

(一) 米國軍需生産頭打の眞相と

其の前途の見透

(二) 米國民需過大壓迫の破綻と

其の米國戰力に及す重大影響……………三五

(三) 米國の食糧難深刻化の意義と

其の重大結果……………四〇

四、米國インフレ破局の

現段階……………四七

(一) ル大統領領インフレ防遏方式の無謀と

破局必至事情……………四七

(二) 米國貸銀統制破局必至の

根本事情……………五〇

(三) 米國生活費の昂騰必至と

貸銀インフレの破局……………五五

七月號目次

一、大東亞解放への 各民族の總蹶起	一頁
----------------------	----

二、米國戰時内政重大破綻の 意義と其の前途	七
--------------------------	---

(一) 米國現下の政治經濟的重大破局の 基本性格	七
-----------------------------	---

(二) 大戰の壓力とル大統領の 統率力の崩壊	二
---------------------------	---

(三) 米國政治經濟態勢に不適合の 過大戰爭重壓	七
-----------------------------	---

三、各國經濟戦力の大小は何に依つて 決定せられる乎	七
------------------------------	---

——一國經濟總力の大小が其の儘其の國經濟戦力の大小となるに非ずして、それ以外の各種の條件に由つて、一國の經濟戦力は一大大差異を生ずるものである——

(一) 經濟總力の幾%が經濟戦力化し 得るかの諸條件	七
-------------------------------	---

(二) 經濟戦力結成諸條件の 日米優劣比較	三
--------------------------	---

四、日米經濟戦力の 位置の轉倒	四
--------------------	---

(一) 國民頑張力の強弱と日米經濟戦力

大小の轉倒……………四一

(二) 戦時經濟の企畫統制力の高下と

日米經濟戦力の大小……………四八

(三) 米國經濟戦力は外觀に比し

少からず弱小……………五四

八月號目次

一、戰時インフレ對抗力各國の 巨差と問題の所在	一
----------------------------	---

(一) 戰時インフレ對抗力が國に由り	
--------------------	--

多大の差異を來す基本事情	一
--------------	---

(二) 戰時インフレ防遏力に多大の	
-------------------	--

差異を生ずる基本問題	六
------------	---

(三) 戰時インフレ防遏力の強弱を	
-------------------	--

規定する其の他主要事情	六
-------------	---

二、米國戦力の最大隘路・勞力 不足の激化と其の意義	二
------------------------------	---

——『米國經濟戦力愈々頭打降下の

新段階に變轉す』(中)——

(一) 米國戦力上占むる勞力の	
-----------------	--

特殊重大位置	三
--------	---

(二) 米國戦力の重大隘路化せる	
------------------	--

勞力不足激化	六
--------	---

(三) 米國勞力不足激化の	
---------------	--

需給事情の検討	四
---------	---

三、決戦必勝への全國民

總蹶起と其の態勢

五

九月號目次

一、資材不足深刻化に基く米國 軍需生産の隘路愈々窮迫……………	一
------------------------------------	---

——米國經濟戰力愈々頭打

降下の新段階に變轉す（下）——

（一）米國資材不足激化の 基本事情……………	二
---------------------------	---

（二）米國重要資材不足 激化の實情……………	七
---------------------------	---

二、新增稅問題と預金 利子引下論……………	一七
--------------------------	----

（一）定期預金に由る國債消化の 行詰狀態……………	一七
------------------------------	----

（二）預金利子、郵便貯金利子の 引下を斷行せよ……………	二二
---------------------------------	----

（三）金利根本論と 其の位置……………	二六
------------------------	----

三、北支視察通信……………	三三
---------------	----

(一) 大東亞戰と北支經濟位置の

重大性……………三三

(二) 北支物價及び

物資の特徴……………三四

(三) 北支インフレの特徴……………三六

十月號目次

一、決戦行政機構英斷の意義と

右に對する要望……………

(一) 軍需省・運輸通信省創設の

大英斷と其の意義……………

(二) 決戦行政機構の整備運営に

關する要望……………

二、決戦態勢の強化を更に

大東亞全域に擴大せよ……………

三、戦時國民生活省整備の

緊要性と農商省への要望……………

——農商省新設目的に表はれた

精神を發展充實せよ——

(一) 戦時國民生活省要請の意義……………

(二) 國民生活省としての農商省

充實についての要望……………

四、北支の重大位置と其の現下

インフレの情勢……………元

(一) 決戦完遂上占むる北支の重大

役割と其の問題點……………元

(二) 北支經濟刻下の困難事情と

其の克服問題……………三

(三) 北支現下インフレの特質と

其の段階……………三六

(四) 中支よりも北支のインフレ

僅少なりし理由……………四〇

十一月號目次

一、大東亞の解放獨立の慶祝と 大東亞の建設興隆への團結……………	一
二、軍需大量生産への抜本的産業 再編成と其の現段階的意義……………	六
（一）戦局の現段階と今次決戦 經濟態勢徹底強化の位置……………	六
（二）軍需大量生産への抜本的産業經濟の 再編成と其の方向……………	一〇
三、軍需會社法の制定と 戦時民間企業の地位……………	一九
（一）軍需會社法の制定と其の意義……………	一九
（二）民間企業體制の根本的改革を 示唆する主要點……………	三
四、軍需省、軍需會社法と 統制會の地位並其の將來……………	三四
（一）軍需省、軍需會社法と 統制會の改廢問題……………	三四

(二) 統制會の本務と刷新の方向……………三六

五、北支現狀見聞記……………四四

統制なき戰時經濟……………四四

北支の食糧問題……………四七

北支行政の種々相……………四九

貪官汚吏……………五一

十二月號目次

一、大東亞戰爭に對する思想的

政治的大攻勢の展開……………

一

二、大東亞各域(日本以外)に於ける

戰時經濟統制高度化の基本方式……………

一〇

——統制經濟條件不完全なる地域に於ける

戰時經濟統制強化の方式——

(一) 大東亞各域(日本以外)インフレ防遏

新對策の確立愈々緊切化……………

一〇

(二) 通貨媒介の經濟統制に代る

現物リンクの戰時經濟統制方式……………

三

(三) 現物リンク戰時經濟統制の

具體的構想……………

二〇

——之を北支に於て現實に實施する假定の下に

考へられる具體的構想——

三、米國インフレの劃期的破局の

意義と其の影響……………

二七

(一) 米國インフレ破局の

現段階的意義……………

二七

1.20.81
四、米國インフレ防遏方式の
致命的破綻と其の意義
（一）米國インフレ破局の

重大影響

三

（二）米國インフレ防遏方式と

其の全面的破局化

完

（三）米國インフレ破局激化の實情と

其の前途

完

（四）資金昂騰を主軸とする

米國インフレ破局の必至事情

完

（五）米國インフレ破局の必至事情

其の前途

完